

## 研究に関するお知らせ

**【課題名】** 転移性肝癌存在診断におけるガドキセト酸ナトリウム肝造影 MRI 追加施行の有用性に関する後ろ向き研究

**【研究の背景・目的】** 大腸癌・胃癌・膵癌などの消化器癌は、肝臓に転移する頻度が高いことで知られています。肝転移の画像診断は造影 CT を中心に行われますが、近年肝特異性造影剤ガドキセト酸ナトリウムを用いた MRI (EOB-MRI) が微小な転移の検出に有用であることが示されています。本研究の目的は造影 CT で肝転移を検出できない症例を解析し、EOB-MRI 追加施行による新たな肝転移の検出頻度を明らかにすることです。

**【研究の対象・方法】** 対象は大腸癌・胃癌・膵癌に罹患中またはその既往がある患者様で、2008 年 1 月から 2013 年 12 月の間に当院で撮影された造影 CT により肝転移が無いと診断され、その 1 ヶ月以内に EOB-MRI が撮影された方です。原発巣別に EOB-MRI 追加施行による新たな肝転移検出の頻度、EOB-MRI 追加施行が必要とされた根拠、EOB-MRI 追加施行により検出された肝転移の特徴などについて検討を行います。全国で 450 症例、当院では 20 症例の登録を考えています。

**【研究機関名】** 金沢大学附属病院の他、全国約 20 施設参加予定です。  
(研究統括施設：東京大学、研究統括責任医師：大学院医学研究科 教授 大友 邦)

**【個人情報保護への配慮】** この研究で得られた個人情報は匿名化され、厳重に管理されます。研究成果は学会や論文等で発表されますが、個人情報は一切公表されません。

**【その他】** この研究のために患者様に新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。この研究はバイエル薬品株式会社より、臨床研究契約に基づく資金提供を受けて実施されます。

**【研究への参加・不参加および同意撤回の自由】** この研究に参加されるかどうかはご本人の自由であり、参加・不参加によって今後の診療に不利益が生じることはありません。またいつでも参加を辞退することができます。上記の研究対象に該当する患者様で参加辞退のご希望がありましたら、お手数ですが 2015 年 12 月 31 日までに以下の窓口までご連絡をお願い致します。

### 【連絡先】

研究責任者 金沢大学附属病院 放射線部 助教 北尾 梓

〒920-8640 金沢市宝町 13-1 Tel : 076-265-2323 Fax : 076-234-4256